

# 燃料価格高騰対策の進捗状況について

## 1. 「燃料高騰対策本部」の設置について

全ト協・都道府県ト協において、「燃料高騰対策本部」を設置した。

## 2. 陳情・要望活動の展開について

管内閣官房長官、太田国土交通大臣、麻生財務大臣、高市自民党政調会長、野田自民党税調会長などに陳情・要望活動を積極的に展開中。

## 3. 燃料サーチャージ導入促進策について

- (1) 燃料サーチャージ導入検討のお願いのリーフレット(国土交通省・経済産業省・トラック協会連名)を活用して、200を超える荷主団体に対し協力要請文書を送付した。また、協力要請文書の雛型を都道府県ト協に送付した。
- (2) 燃料サーチャージの届出を行っている会員事業者のホームページ掲載について、都道府県ト協を通じて承諾を得られた事業者から順次掲載中。
- (3) パートナーシップ構築セミナー及び原価意識向上セミナーを開催し、事業者の意識向上を図っている。燃料サーチャージに関するテキスト・モデル講演VTRを都道府県ト協向けに配信した。

## 4. アイドリング・ストップの徹底について

高速道路上のSA・PA及びトラックステーションにおいて、チラシの配布、宿泊補助などを、12月・1月を目途に計画。

## 5. 自家用燃料供給施設整備支援助成事業の特別募集及び燃料高騰対策特別融資、補完融資の追加公募について

## 6. 広報活動について

- ① 10月9日「トラックの日」に、全国紙・ブロック紙に、燃料価格高騰による危機的状況を訴える意見広告を掲載した。
- ② 10月下旬～11月上旬にかけて、荷主業界専門紙に燃料サーチャージ導入の理解と協力を求めるPR広告を掲載した。
- ③ 全ト協機関紙「広報とらつく」において、燃料サーチャージの導入成功事例等を紹介し、啓発を図った。今後も実施予定。
- ④ 燃料サーチャージ導入の理解促進を図るステッカーについて、都道府県ト協に希望枚数を確認し、作成中。
- ⑤ 全ト協提供ラジオ番組「ドライバーズ・リクエスト」において、燃料サーチャージ導入の理解促進を図るCMを毎週金曜日放送中。

## 7. 会員事業者の結束強化について

「第18回全国トラック運送事業者大会」(10月9日)において、大高副会長(物流政策委員長)が説明し、問題意識の共有、会員事業者相互の結束強化を図った。

## 8. 「トラック業界の要望を実現する会」の開催について

11月5日に「トラック業界の要望を実現する会」を開催した。国会議員150名、トラック業界約150名が参加し、軽油価格高騰対策等業界の要望実現を強力に訴えた。